

平成 28 年度 第 55 全国七大学総合体育大会 ヨット競技

大会期日：平成 28 年 7 月 9 日（土）～平成 28 年 7 月 10 日（日）

開催地：神奈川県横浜市金沢区八景島沖

主催：北海道大学体育会、東北大学学友会体育部、東京大学運動会、名古屋大学体育会、大阪大学体育会、京都大学体育会、九州大学体育総会

主管：東京大学運動会ヨット部

特別協賛：一般社団法人 学士会

レース公示

1. 規則

1.1 本大会には『セーリング競技規則 2013-2016（以下「RRS」という）』に定義された規則を適用

する。ただし、帆走指示書で RRS の一部を変更する。

1.2 水上にいる間、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、競技者は個人

用浮揚用具を着用していなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具

ではない。この項は、RRS40 及び第 4 章前文を変更している。

1.3 RRS 付則 D は適用しない。

1.4 RRS41 に以下を追加する。

『（e）自チームの他艇からの援助。』

1.5 RRS62.1（b）の末尾に以下を追加する。

『ただし、相手艇または船舶が自チームの艇または自チームの支援艇・応援艇である場合を除く。』

1.6 RRS64.1（a）を以下の文に置き換える。

『ある艇が規則に違反した結果、同じチームの艇ではない他艇が規則に違反せざるを得なくな

った場合、その他艇は免罪されなければならない。』

1.7 RRS64.1 に以下を追加する。『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触が無かった場合、RRS 第 2 章の規則違反は免罪されなければならない。』

1.8 RRS87 に基づき、国際 470 級の規則を変更し、マストの上部に浮力体をつけることを許可する。

1.9 「SCIRA 規則」の国内及び国際選手権大会の運営規定は適用しない。

1.10 レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、帆走指示書を優先する。

2. 競技種目および競技方式

2.1 競技種目

国際 470 級、国際スナイプ級および総合とする。

各クラスの 1 チームは 2 艇とする。

2.2 競技方式

クラス別にフリート・レースを行う。

3. 参加資格および参加申込み

3.1 参加資格

（1）全国七大学総合体育大会に参加している大学のヨット部員であること。

（2）2016 年度日本セーリング連盟会員であること。

- (3) 全日本学生ヨット連盟規則第6条を満たしていること。
- (4) スポーツ安全保険に加入していること。
- (5) 艇の乗員は、そのチームに登録した選手での交替を行って良い。

3.2 参加申込

参加申込書に必要事項を記入の上、送付すること。

- ・ 申込締め切り：平成28年6月10日(金)
- ・ 送付先：東京大学ヨット部七大戦実行委員会 浅川雄基(ヨット部) 『utst2012@gmail.com』

4. 参加料

参加料およびレセプション参加料は、次の要領にて所定の口座に振り込むものとする。

- ・ 振込締め切り：平成28年6月20日(月)
- ・ 参加料：1大学14万円
片クラスのみエントリーの大学は、10万円とする
- ・ レセプション参加料：1人4500円
- ・ 振込先：金融機関コード：三菱東京UFJ銀行
支店コード：135 普通 4051565 東京大学運動会ヨット部会計 成田祐樹
平成28年度第55回全国七大学総合体育大会ヨット競技 ○○大学

5. 大会日程

- 5.1 登録：7月8日(金) 10:00~11:30 に受付、艇の抽選および引き渡しを行う。
- 5.2 7月8日(金) 13:00~16:00 の間は出艇を許可する。
- 5.3 開会式：7月8日 場所は別途通達する。
- 5.4 レセプション：7月8日 開会式に引き続き行われる。
- 5.5 本大会のレース数は、両クラスとも最大10レースとする。1日のレース数は定めない。
- 5.6 それぞれの日の最初の国際470級の予告信号の予定時刻は 09:30 とし、国際スナイプ級は
これに続く。7月9日は、470級については 15:30 を過ぎての、スナイプ級については
その5
分後を過ぎての、7月10日は、470級については 12:00 を過ぎての、スナイプ級につい
ては
その5分後を過ぎての予告信号は発せられない。但し、ゼネラル・リコール信号が発せら
れた場
合はこの限りではない。
- 5.7 期間中に、七大学OB戦を実施する。OB戦のレース公示および帆走指示書は別途定める。

6. 艇・セール

6.1 艇体および装備(セールを除く。この項では『艇』という。)

- (1) 艇は、主催団体が準備する。
- (2) 艇の取り扱い等については帆走指示書に規定する。
- (3) 7月8日(金) 受付時に、抽選により使用する艇を決める。
- (4) 7月8日・9日・10日は同一の艇を使用する。
- (5) 装備の破損・紛失については、当事者が責任を持って補償しなければならない。

6.2 セール

- (1) セールは、各チームが持参しなければならない。
- (2) RRS3 に基づき、セールには、クラス規則に反している国を示す文字やセール番号を付け
ることができる。国際470級のセールはメイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一

でなくともよい。

(3) 複数の艇で同一のセール番号を用いてはならない。

6.3 その他 持参が必要な艀装品は、大会の約1ヶ月前に通達する。

7. 帆走指示書

帆走指示書は、平成28年6月1日までに各大学に送付される。

8. 開催地

8.1 【添付図A】は、レガッタ・ハーバーとレース・エリアの場所を示す。

9. コース

【添付図B】の見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを

通過する側を含むコースを示す。

10. 得点

10.1 種目別の得点

(1) 種目別のチームのレース得点は、チームの艇のレース得点の合計とする。ただし、1艇で

エントリーしたチームのレース得点には、DNFの得点を加える。

(2) RRS4及びA8の文中の『艇』を『チーム』と置き換えて適用する。ただし、種目別のチー

ムのシリーズ得点は、レース数が6レース未満の場合、全てのレース得点の合計とする。

10.2 総合の得点

(1) 総合の得点は、両クラスに出場した大学の種目別のシリーズ得点の合計し、より得点の低い大学を上位とする。

(2) 総合の得点がタイとなった場合には、それらの大学は同位とする。

10.3 本大会の成立には、各クラス1レースを完了することを必要とする。

11. 無線通信

緊急の場合を除き、艇および支援艇は、レース中に無線および携帯電話の送受信をしてはならない。

12. 賞

種目別および総合の第1位～第3位のチームに、賞状および賞品を与える。

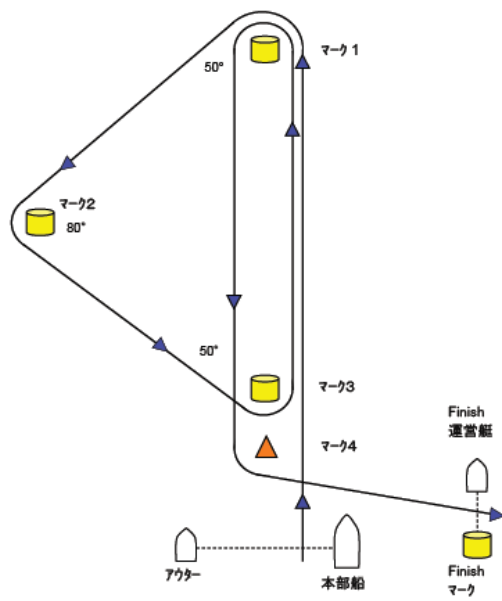
13. 責任の否認

本大会の競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS4「レースすることの決定」参照。主催団

体は、大会前後、大会期間中に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責

任も負わない。

【添付図A】



問い合わせ先 浅川雄基 080-5092-7497

以上